

平成30年11月定例会の結果

1 請願書 2 資料（請願文書表）

1 請願書

| 請願番号 | 件名 | 結果 |
|-------|----------------------|-----|
| 請願第3号 | 子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願 | 不採択 |
| 請願第4号 | 国民健康保険料の引き下げを求める請願 | 不採択 |

2 資料（請願文書表）

請願第3号

子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

請願者 子供と教育を考える静岡市民会議 大多和 暁

署名者数 5,656名

911名（平成30年11月26日追加）計6,567名

紹介議員 内田隆典 杉本 護 望月賢一郎

鈴木節子（平成30年11月28日紹介を取消し）

「請願趣旨」

子どもたちが人間として大切にされ、憲法と子供の権利条約が生きて輝く学校をつくる
ことが父母・保護者・市民の願いです。どの子にもゆきとどいた教育を保障するために
以下のことを請願します。

「請願項目」

1 市の教育予算を増やしてください。

- ① 子育て支援の観点から、給食費を無償にしてください。
- ② 静岡県が踏み出したように、静岡式35人学級における「1クラス25人以上」の条件を撤廃してください。

- ③ 必要とするすべての高校生・大学生のための返済不要の「給付制奨学金」を設立してください。
 - ④ 民間で実施している「こども食堂」や学習支援を、市が財政的に支援してください。
 - ⑤ 小・中学生の保護者への就学援助をより丁寧に周知し、さらに認定基準の緩和、支援費目の拡大をしてください。
 - ⑥ 学校で必要な教職員は、すべて正規で雇ってください。
- 2 教育環境・施設を整えてください。
- ① すべての学校建物の100%耐震化と安全対策を進め、老朽化の進んだ校舎や体育館の建て替えを計画的に進めてください。
 - ② 避難所となることを想定し、体育館のバリアフリー化とトイレの洋式化を進めてください。
 - ③ 普通教室へのエアコン設置を最優先課題とし、早急に実施してください。
 - ④ トイレの洋式化を前倒しで進めてください。
 - ⑤ トイレや水道の蛇口の数を児童・生徒数に見合うように改善してください。
 - ⑥ すべての学校に専任の学校司書を配置し、図書予算を増やしてください。
 - ⑦ 必要とするすべての子どもが、放課後児童クラブに入れる対策を早めてください。
- 3 特別な支援を必要とするすべての子どもたちに、ゆきとどいた教育を保障してください。
- ① 特別支援学級の定数を8人から6人にしてください。
 - ② 特別支援学級を更に増やしてください。
 - ③ 中学校区ごとに、通級指導教室を設けてください。
 - ④ 静岡市立特別支援学校を設置してください。
- 4 小中一貫教育を一律に進めないでください。
- ① 地域住民の合意のない公立学校の統廃合を行わないでください。
 - ② 小中一貫教育では、各学校の自主性と保護者や地域住民の合意を尊重し、上からの押しつけをしないでください。

請願第4号

国民健康保険料の引き下げを求める請願

請願者 静岡市医療と福祉をよくする会 山田美香
国保料を値下げさせる清水の会 平塚倫豊

署名者数 4,956名

1,078名（平成30年12月4日追加）計6,034名

紹介議員 内田隆典 寺尾 昭 杉本 護 望月賢一郎

「請願趣旨」

いま国民健康保険加入者のくらしは、年金支給額の減少・非正規労働者の増加による収入の減少、他の保険料や医療・介護使用料の増大で「国保料を払ったら暮らしていけない」深刻な状況にあります。医療が必要な方が保険料を払いきれないため受診を控え、手遅れになるなど深刻な事態も起きています。国民皆保険制度にもとづき国保料滞納世帯にも窓口の一部負担減免制度を利用できるようにすることも大事です。

平成30年度から国保の都道府県単位化が始まり、初年度の国保料は据え置きになったものの国保運営方針どおりに一般会計からの繰り入れを減額・解消する方向に進みかねません。

いま静岡市で行うべきことは、国と県に公的責任と財政支援を求めるとともに市民の暮らしを守るために国保加入世帯の実態を把握し、保険料の高負担に苦しむ市民にきめ細かに対応することです。一般会計からの繰り入れを増額すれば国保料の引き下げは十分可能です。また、低所得者向けの減免制度も拡充して払える国保料にすべきです。

つきましては以下の項目について請願いたします。

「請願項目」

国民健康保険料を引き下げてください。